2000.3.15

# 大学図書館問題研究会 京都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34 (Tel) 075-574-4118 京都橘女子大学図書館 田北十生気付

(Fax) 075-574-4124

## 熱のこもった第2回例会!

## テーマ「大学図書館ホームページについて考える」

去る 2000 年 3 月 1 1 日 (土) 午後 2 時から立命館大学国際平和ミュージアム 2 0 4 号室で開催されました大図研京都支部第 2 回例会は、会場いっぱいの参加者を得ました。

図書館ホームページに対する関心の高さを示しているようです。立命館大学総合情報センターの井上雅人氏(京都支部委員)が講師でした。終了時間は、5時でしたが意見が伯仲して、時間が足らないという感じでしたが、会場の関係で、続きは懇親会に移されました。ということで懇親会も大いに盛り上がっりました。

# 全国大会のページを 「大図研京都」のホームページに作りました

目

次

是非見てくださいね!

全国大会ページのURLはこちら↓ http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dt kk/dtkc.htm

「大図研京都」ホームページは↓ http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dt kk/

### メーリングリストに参加を!

現在メーリングリスト参加者は、 アドレスで52名になりました。 新規加入希望者は下記から申し込 んでください。

http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/ml.htm

第2回例会の報告・・・・・・・・・・・1頁
全国大会のページを大図研京都のホームページに・・1頁
メーリングリストに参加を・・・・・・1頁
例会レジメ「大学図書館のホームページを考える」…2頁
例 会 感 想 文・・・・・・・・・・6 頁
京都論女子大学図書館が一ムページから蔵書検索6頁
便利で優しいホームページを作成するため
 のアイデア集め・・・・・7頁
第7回京都支部委員会の報告・・・・・8頁
 近畿4支部新春合同例会に参加して9頁
 会費納入のお願い・・・・・・・・・・・・・・・・
数珠つなぎ(第 48 回)・・・・・・10 頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又は FAX で 編集気付(kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp)田北まで

大学図書館の ホームページを考え ・はじめに、 ω RIG 立命館大学総合情報センター/井上 雅人 11/大学図書館問題研究会例会 マの動機となるい Ś 

・ホームページの状況 大字のHPあり 型 型立大字 98(100x) 65 か立大字 98(89.4x) 42 か立大字 402(88.2x) 27 8計 558(90.2x) 41 大学図書館の ―ムページの現状 图書館のHP 85(96.9%) 48(72.7%) 271(59.4%) 414(66.8%) BURNING THE PROPERTY OF THE PR

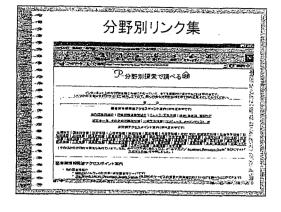
情報公開 利用案内 ネットワークサービス 大学図書館の ツの機能 Autorest transfer posture a transfer property

The state of the s	4. レファレンス	3. コンク無	2. 陶사ンャーナス	い · · · · OPACの協会、オンウインDB	1. アーダベースサーだス	製いについて	は、ペシャワークヤー	
	<u>voluk</u>		negar.	キソルイソDB	トバス	•	ンサーバス	A CONTRACTOR OF THE PROPERTY O

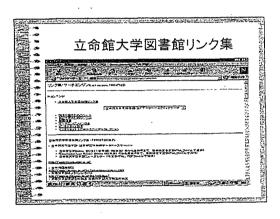
SECTION OF SECTION	ルナンナーナル	1000	7-9-2	を表現をお	ゲーケベース	発用が開発する	FirstSaare	0010	ゲーケベース		ははゲータスース	カレントコンテンツ	SWETSHEAT	くっぱ音楽選リワルンロン	 OPAC	データベース保証		半明語人子のコアナ	计协部
Security Control of the Control of t	6 75∼	8661	977~	11997	ļπ	1997	57	1997	9681	⊢	1996	55-	-	38~	0 6 5 1	日本は四日日	1	\ + S	₩ +
	ı	サイカア 社の政策する指示ジャーナル	おはアークスース	ピデオ、ガーデイオ、光学などの現在党員内の首は		島田繁殖の大記録(1985会へ) ボークムー		00104-73.4-42-4	第2次世界大阪後、通合四軍(GHQ/SSCAP)		<b>契約を記ゲータベース、TRC、日辺など</b>	ロンヤンシ		第1次会界大戦の表現及降のために開催された。 1914年金曜:の原佐は	国の1000年10日日 日本・10日日 日本・10日日	ZA.		ムノナーダンー人	
of the state of th		(1230		1001	,	1			SCAP			300		20,000					

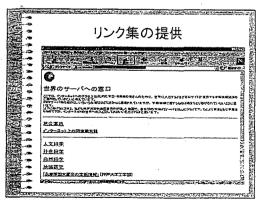
							A Partie
nerganine Colonia de la coloni	ProQuest Diazect	DialogSelect	TEXIS-NEXIS	日祖テレコム21	ゲータベース建筑	立命館	
	2¥2 6 5 5 1	1999 5∦∼	- E B B	1999 4,A~	開始作品	大学(	Harata Barana
	人文科学、社会科学、直然科学の各分野で、 5.000部以上の雑誌、新聞32誌	Dialog のゲータベースから主要なもの約250程 WWWからアクセスできる		隆息	in si	立命館大学のコアデータベース	AND THE PROPERTY OF THE PROPER
uninganggangangangang  }	海南里	2)337,5	Mile Al	翅鹟	il de		





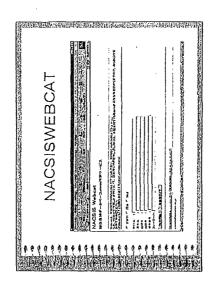






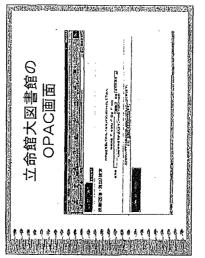




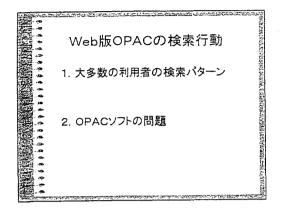


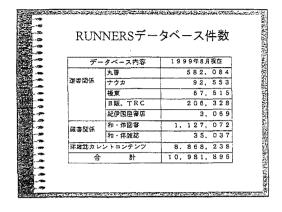


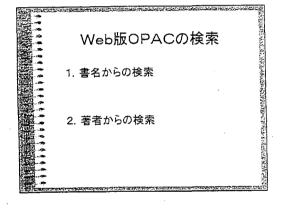


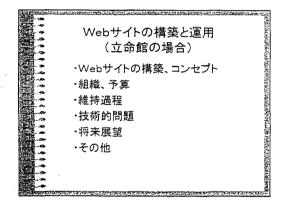


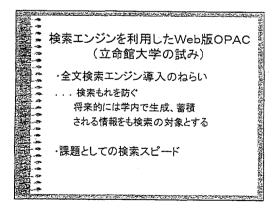




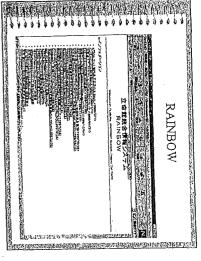


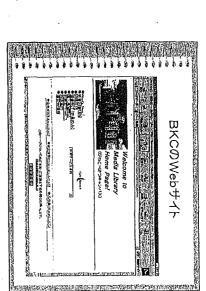


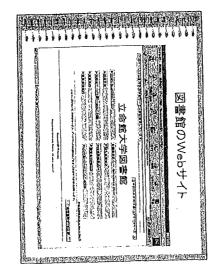


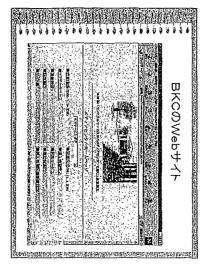












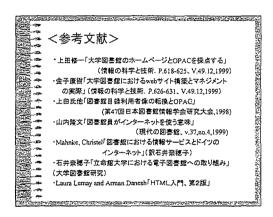


図書館にとつてWebサイトの意味
1)Webの評価
2)立命館大学の場合
・user interface をWebで構築し、OS
に制限されないシステム
・Webを通じた教育、研究、業務
ーCampus Intranet の構築









### 第2回例会「大学図書館のホームページを考える」に参加して(感想文)

#### ●村上健治(大阪大学附属図書館)

大学図書館のホームページからは、図書館の所在地、交通手段といったことから蔵書検索システムの利用まで、さまざまな情報を得ることができます。これらのサービスを整理していくとどのようなところに集約されていくのか? ということに興味があり、例会に参加しました。

報告及び議論の中で印象に残ったのは、ホームページは、図書館の情報を公開するばかりではなく、利用者からの疑問・要望に答える窓口の一つであること、他所からリンクされる情報をもつべきであること、蔵書検索システムで資料の所在が検索できても、実際に利用できなければ意味がないこと、などでした。ホームページを通した図書館サービスのあり方について考えさせられることの多い例会でした。

# <u>便利で優しいホームページを作成するための</u> アイデア集め!

大綱 浩 一

実をいうと私は、日常生活においてあまりインターネットを活用できていません。私的には今年の1月、自宅のパソコンをようやくインターネットに接続できるようになったばかりですし、職場でも普段よく利用するのはメールくらいです。Web をまともに使ったのは、情報探索入門の演習課題を作るために、「Web で何ができるのだろうか?」と調べた時くらいでした。

先頃、「大学図書館のホームページを考える」というテーマで例会が開かれましたが、それと前後して「どのようなホームページが便利で優しいホームページだろうか?」と思い巡らすようになりました。しかしながら才乏しき身としては、自らのアイデアには期待できません。というわけで最近、便利で優しいホームページのアイデアを求めるために、Webを使い始めています。

そこで今回はそのことについて書き記したいと思います。特に便利なサイトの紹介はありませんが、ご了承くださいませ。

あまりに有名ですでにご存じかと思いますが、下記のような大学図書館のリストが公開されています。

タイトル: Jump to Library in Japan

 $U\ R\ L \qquad \hbox{: http://ss.cc.affrc.go.jp/ric/opac/opac.html}$ 

責任者 : 林 賢紀(農林水産研究情報センター)

リストを使えば、かなり効率よくブラウジングしてゆくことができます。 とはいえ、まだそれほど多くのホームページに目を通せている訳ではありませんが、その 中でも今一番心惹かれているホームページが、北海道大学附属図書館のホームページです。

タイトル: Hokkaido University Library URL: http://www.lib.hokudai.ac.jp/ 責任者: 北海道大学 附属図書館 デザインにおいても、提供されているサービスにおいても、好感が持てます。 デザインにおいては、好みの介入する余地があると思われますが、項目が適度に展開されていて、どこに何があるのか、分かりやすいと感じます。トップページの項目を極端に減らしてしまうと、どうしても必要としている情報がどこに位置づけられているのか、が見えにくくなってしまいます。さらに"ホームページの構成"というページが、目次として全体像を表す機能を果たしています。個々のサービス項目もさることながら、その見せ方・位置づけ方にバランスの良さを感じます。

"資料案内"の元に各種リストも充実し、OPAC との連携も図られています。また、図書系職員による研究会によってオンラインジャーナル集が作成されています。

タイトル: Online Journals

URL: http://ambitious.lib.hokudai.ac.jp/online journal/index.html

この雑誌リストでは所蔵情報 (NACSIS-Webcat)、目次情報 (NACSIS 目次速報 DB など)へのリンクが用意されているようです。また、このページはいくつかの大学図書館のホームページからリンクが張られています。ネットワーク環境においては、必ずしも個々の機関が重複してリストやデータベースなどを構築する必要はなく、生産効率の面からもツールの分担構築が望まれます。

とはいえ、各機関とも未だ手探りの状態にあり、現段階においては分担構築が進むとは考えにくいです。そこで、せめて各機関において効率よくツールを構築するためには、他機関のホームページをチェックすることがもっとも有効な方法だと思われます。たとえば、いくつかの大学図書館のホームページを回れば、無料で利用できる DB のリストを簡単に作ることができます。これは、せめて他で実現されているサービスはうちでも実現しよう、という発想です。

以上、少しあこぎな方法ですが、いかがでしょうか。ただし単なるいいとこ取りで終わると、誠意に反しますので、浮かした労力でオリジナルを追加したいものです。そうすれば、総体としては前進したことになるのではないでしょうか。

(おおつな こういち 京都大学付属図書館)



#### 第7回京都支部委員会報告

2000年 3月 7日 (火) 同志社大学クローバーハウス (午後 7時~ 9時) 出席:篠原、中嶋、呑海、田北、井上、大館、大綱 (オブザーバー)

#### 【報告事項】

- 1. 会員情報 ・新規加入 1名
- ・前回から変動なし、1999年度会費納入者 78名 (納入率 85%) 2. 財政情報
- 3.「ゆりかもめ」運用状況 ・加入者 51名

#### 【審議事項】

- 1. 今年度の活動について
  - (1) 第2回例会
    - ・テーマ「大学図書館ホームページを考える」
      - 1)参加申込状況 ・支部委員等6~7名 ・非会員 3名
      - 2) プログラム

報告 休憩 15:00 - 15:15 14:00 - 15:00質疑応答 15:15 - 17:00

- 3) 役割分担 開会挨拶ー篠原、司会ー大館、会計・受付ー中嶋・大綱、 録音一大館、写真一吞海、看板一田北、原稿依頼一田北
- 4) 例会終了後、会場近くで懇親会
- (2)第3回例会
  - ・当初予定していたテーマ「ネットワーク管理」は講師を確保する見通しが立 たず、先送りにする。
  - ・代わりに新設の図書館見学会を5月に行う方向で準備する。
- 支部報について

(1) 3月号について インターネット活用術 3 (京都大 大綱さん) / 数珠つなぎ (京都大から) 3月例会報告

- (2) 4月号について(3) 5月号について(4) 6月号について(5) 7月号について 3月例会感想/数珠つなぎ(ジュンク堂書店から)
- 数珠つなぎ(京都大学から) 数珠つなぎ(京都大学から) 数珠つなぎ(紀伊国屋書店から)

- 3. 支部報復刻版の発行について
  - ・原稿のスキャナー読み取りを業者に任すにあたっての見積もりをとる。
- 4. 京都支部ホームページについて
  - ・効果として、メーリングリストの加入者が 4名増加。
  - ・内容の更新をこまめに行う。
- 5. 大会開催にあたっての常任委員会からの要望事項について
  - (1) 保育所開設
    - ・対象者の人数が把握できないと対応できない。次回全国委員会で各支部でとの希望者を調べてもらうように要望する。
  - (2) 聴覚障害のある参加者のためのノートテーカーの配置
    - ・実現の方向で取り組む。
  - (3)各分科会の報告者、コメンテーター等を開催地で手配する ・近畿4支部の中で、候補者をリストアップしていく。
  - (4) 講演会講師について
  - ・大会実行委員会で選定中。
  - (5) 大会準備のための連絡体制
  - ・メーリングリスト「ゆりかもめ」に常任、全国委員を登録する。
  - (6)ネットワーク環境の構築
    - ・実現の方向で検討していく。
  - (7) 資料配付用紙袋の提供業者について
    - 確保する。
- 次回支部委員会予定 4月11日(火) 次回大会実行委員会 3月11日(土)

12:00~13:30 (立命館大学平和ミュージアム)

(次ページからの続き)

冨田先生は、「科学史」ゼミ終了後、「大学の図書館」に寄稿された文\*(1)の中で、自然科学の発展とは何か、図書館の本質とは、図書館員の主題研究はなぜ必要か、どんな努力が必要か、専門図書館における"分類"のもつ意味、新しい研究創造に必要な古典資料の意義。。。などについて非常に示唆に富んだ内容を書いておられる。

これに対し「誰も反論、提言をしてこなかった」と大図研会員の心意気のなさ?をいつも嘆かれているが、いつか少しでも面目を果たして図書館職員を終わりたいと思っている。

世界に私の図書室にしかない科学史上重要な貴重図書\*(2)の一部は、地鉱教室の教員であった清水大吉郎先生によって解説書\*(3)がまとめられたが、未だ多くの貴重書が未収録のままである。

なんとか清水先生がお元気なうちに、共同で解説書的にまとめられないかと先生と相談中である。

上記の2件を果たし、科学史ゼミのあとも仲間で続いている「テーマをもった旅」でマサチューセッツへ「ライマンツアー」をくめないか、と夢見ている。

もう、図書館職員としての退職もそう遠くはない、急げ!!

- \*(1)「大学の図書館」10巻4号(1991/4)
  - "大学図書館職員の主題研究に期待する" 富田克敏
- \*(2) リンネ「自然の体系」(Systema naturae,1735) 初版本、

アグリコラ「デ・レ・メタリカ」(中世ヨーロッパの鉱山業の様子を詳細に記し、292枚の木版画がそえられた技術史上重要な文献) 初版本

プリニウス「博物誌」(L'Histoire du Monde, 1566 仏訳) 8年前初めて完全邦訳された。

「Neues Jahrbuch ] 始祖鳥の化石が初めて記された雑誌

「Philosophical Transaction Royal Society London」(1665-)第1巻から世界最初の学術雑誌などなど

\*(3)「古典にみる地学の歴史」清水大吉郎著 東海大学出版会 1996

## 近畿4支部新春合同例会に参加して(感想文)

### ●天野絵里子(京都大学工学部電気系図書室)

本屋と云えばジュンク堂という感覚で育ちました。出身が兵庫県なもので。高尚な、おそれ多いイメージを持っていたのですが、最近年大規模店が次々に目につくようになってから、そのような店はあまり個性的でなく、どこが始めたかもわからない程どこにも喫茶コーナーがあり、本好き・本屋好きには、あまりおもしろくない事態ではあります。

ブランドイメージが下がってしまったというか・・・経済的に業界内で厳しい状況、というのは図書館も同じなのですが、中でも 個性を出して他より抜きんでてイメージを保つ方が、楽しいですね。大規模店も次々出していかないと生き残れないからジュンク堂さんも頑張っておられるのかと思ったら売り上げはあるとのこと。本屋さんの台所事情は数々あると思うのですが(図書館も)小説に描かれて残っていくような、そこにしかないイメージを保つことが重要性をもてるかどうか・・・考えてしまいました。

### ------ 会費納入のお願い

1999年度会費未納の会員さんは、至急会費の納入をお願いします。 会費についての問い合わせは財政担当支部委員の中嶋スエ子さん、又は 最寄りの支部委員又は、編集子までお願いします。

## ダイマン・コレクションに学ぶ

2000年の新年早々に、息もできない激痛におそわれて、思いもかけず胆嚢を切り取るはめになってしまった。

入院による長期の図書室閉室で、たまりにたまった山積みの仕事をえもいえない焦りにかられながら片づけているうちに、ふと、もう一つの焦りが頭をもたげてきた。

「こうしていつも、日々の処理に息絶え絶えに追われているうちに、長年勤めてきたこの 専門図書館で私がしておかなければならないこと、すべきことを忘れ去っているのではな いか? そうしているうちに、この図書館の他にない貴重な資料は、存在意義を充分把握 されないまま人員不足による組織再編の波の中で、統合吸収され、忘れ去られてしまうの ではないか。。。」という思いである。

8年前、ふとしたきっかけで読んでいた雑誌の中で、「ライマン・コレクション」の記事が目にとまった。

ライマン (Benjamin Smith Lyman) といえば、ナウマンとならんで、我が国の地質学の草創期に活躍した政府のお雇い外国人地質学者、鉱山技師で日本の地質学に大きな貢献をした大恩人として知られている。

彼は1872年(明治5年)から1881年(明治14年)まで滞在し、その間多くの 弟子を育て、日本最初の地質図を出版し、多くの業績を残している。

このライマンの残した蔵書や調査資料がアメリカ・マサチューセッツ大学図書館のコレクションとして保存されているというのである。

そして、このコレクションの生みの親は、同図書館に東洋コレクション担当として採用された副見恭子さんという司書により、マサチューセッツ市立フォーブス図書館の書庫に埃まみれで散在していたのをたまたま発見されたこと(1979 年)に始まるという。これをきっかけに、ライマンが故郷、マサチューセッツに持ち帰った多くの業績資料をはじめ、浮世絵などを大変な苦労をして調べ集めて、大学の予算をとり、コレクションとして確立されたとのことである。 カナダやイギリスなどの著名な学者からも学長宛てに、この事業の推進を要請される中で、9年の歳月をかけて可能になったとのことである。

副見さんは日本にも一時帰国され、予算集めに奔走されたようであるが、我が国には、 わずかの資料しか残されていない、と記されているのである。

ところが、私の図書室の手つかずの箱には、少し目にふれただけでも、ナウマンをはじめライマンの著書がかなり眠っている。多くの地質調査報告資料の中にもありそうである。いつか、これを掘りおこし調べ上げて、副見さんと連絡をとらなければ。。。と胸にあためつづけている。

折しも先日手元に届いた「大学の図書館」第19巻2号には、大図研この10年間の活動を振り返って、「京都の大図研大学がもたらしたもの」と題し、竹村心さんの報告がされている。

その中にふれられている、地鉱教室の教員であった冨田克敏先生にしごかれた9年前の「科学史」ゼミを懐かしく思い出した。その時に私たちに話された大学図書館職員に対する貴重な示唆を、私は未だ果たせず、むしろ、図書館改革の大きな波の中で、忘れているのではないかと改めて自戒した。

(前ページへ続く)